

MPDB 前面衝突試験方法及び評価方法の修正等の概要について

➤ MPDB 前面衝突安全性能試験方法の主な修正内容

● 4.1.5 座席調整

4.1.5.1 運転者席

現状の試験法（案）の座席の前後方向の調整について、軽自動車等において運転者席の前後方向の中間位置とした場合、ダミーの大腿部とステアリングとの隙間が確保できない車種が存在し、また、直線 A ラインの取扱いはH-Ⅲダミーで算出したものであり、THOR ダミーを適切に搭載することができないことから、原則、座席の前後方向の調整については中間位置を基本とし、直線 A ラインの取扱いを削除し、適切な搭載位置へ調整できるように修正した。

● 6.1.2(2) ダミーの再検定

運転者席ダミーは4回の試験実施後に、助手席ダミーは3回の試験実施後に再検定を受けるものとした。

● 6.3.7MPDB 台車の記録

台車 OLC について、台車に取り付けられた加速度計の計測結果の記録と試験後のバリアの変形量の計測について、自動車メーカーと機構で協議のうえ、スムージングを行ってから記録することを追記した。

➤ MPDB 前面衝突安全性能評価方法の修正内容

- 運転者席の部位毎の得点配分に誤りがあり、運転者席の得点が 11.99 点となっていたことから、各部位の比率はそのままに頸部の配点を 0.71→0.72 となるように重み係数を 0.176→0.180 と修正した。

➤ その他

- フルラップおよび MPDB の 5F ダミーに係る評価について、下肢部を大腿部との表記へ修正した。図 15（OLC）、図 16（SD）の評価関数に減算とならない誤りがあったため、修正した。